

TRICOLOR

大会・公式戦結果

Top

【神奈川県サッカー選手権兼天皇杯県代表決定戦】

▼1次トーナメント1回戦
 vs 松蔭大学 0-5●

【県リーグ(KSL-1)】

▼第2節
 vs 東海 FC Wings 2-0○

▼第3節
 vs 平塚 SC 1-5●

Youth

【日本CY(U-18)関東大会】
 vs 杉並アヤックス 0-0△

小6

【横浜春季少年サッカー大会】
 vs 翠翔 SC 0-1●
 vs 鶴見東 FC 1-0○

【全日本少年サッカー県大会】
 ▼1回戦
 vs JGK 6-0○

▼2回戦
 vs 南林間 SC 0-2●

小4

【横浜春季少年サッカー大会】
 <ブラン>
 ▼決勝トーナメント1回戦
 vs 駒林 SC 0-2●
 <ブルー>
 vs 青葉 FC-W 1-0○
 vs 藤が丘少年 SC 3-2○

※7チーム中第4位

Papas Rec

【県シニアリーグ四十雀4部】
 vs パフォーマーズ 0-3●

Papas Comp

【市シニア交歓試合】
 vs テヴェントス 3-1○

今、グラウンドでは・・・

Top

【県リーグ途中経過】

5月は2試合を行い1勝1敗で終わりました。2

戦目で初勝利をあげることができたことはチームにとって大きな自信となりました。その2戦目、5月20日に行われた東海Wings戦は、たくさんの方々に応援していただいたおかげで勝利することができました。本当にありがとうございます！6月は17日に港北FC戦、24日にさがみ大沢戦が予定されています。共に海の公園なぎさ広場にて18:35のキックオフとなっています。是非応援よろしくお祈りします！

【天皇杯神奈川県代表決定戦敗退】

5月6日に1次トーナメント1回戦を行いました。残念ながら松蔭大学に破れてしまいました。来年また挑戦するためにも気持ちを切り替えて県リーグに集中して戦っていききたいと思います。(樋口 圭太)

Youth

日本クラブユース選手権の関東予選が終わりました。3月のフェスティバルで GK が骨折したため、普段はMFを務める選手に半分ずつ担当してもらったり、故障している選手をだましながら使ったり、本当にきつい期間でした。

それでも一人ひとりには本当によくがんばっていました。決してあきらめることなく、最後まで立派に戦ったと思います。

横浜FCには、27年のコーチ歴でおそらく最多失点と思われる14点を奪われました。点差には愕然としますが、試合内容は決して相手にならなかったわけではありません。全体のラインを下げ気味にしてカウンターを狙う戦法を採れば、おそらく結果は変わったものだったでしょう。しかし、ここまでの結果からいよいよ上位進出の望みは絶たれていましたので、とにかく積極的に攻撃することを心がけました。もちろん守備を疎かにしても良いわけではありませんでしたが、攻めあがって生まれたスペースからカウンターを決められるパターンで大量失点につながりました。それでもフリーでシュートされた場面は数少なく、身体をしっかりとつけていながらやられています。これはもう相手の能力の高さを評価すべきでしょう。

このあとは県リーグ、県U-17リーグ、KCYリーグと、まだまだ公式戦目白押しです。やっても観ても面白く、勝てるサッカーをやりたいものです。(内田 佳彦)

Junior Youth

ジュニアユースは、5月13日(日)に山梨県甲府市にバスで日帰り遠征を実施しました。その

道中に立ち寄った中央自動車道「談合坂 SA(山梨県上野原市)」でのこと。休憩がてらバスを降りて歩いて、「二木さん！」という聞き覚えのある声。振り向くと、そこには昨年2回ほどインターンとして「かながわクラブ」に来てくれ、その後「川崎フロンターレ」のアルバイトに採用された吉田君の姿がありました。聞けば、フロンターレが企画したヴァンフォーレ甲府とのアウェー戦へバス8台連ねての応援ツアーに添乗員として同行してきたのだとか。吉田君とそんな話をしている間に、今度は視界に見覚えのある顔が。向こうも気づいたのか、お互い目があってビックリ！何と、かながわクラブの卒業生佐藤弘平くんです。そして隣には同じく卒業生の妹香奈子ちゃんとお父さんの姿が。何でもそのバスツアーに「フロンターレサポーター」として参加しているとのこと。4人に別れを告げ、少々興奮気味に自分のバスに向かって歩いてみると、到着したばかりのバスから、揃いのポロシャツを着た、見るからにアスリートという感じの集団が降りてくるのが見えました。「何の集団だろう？」などと思いつつ胸のマークを見ると「ATSUGI MARCUS」の文字が。「まさか！？」と思いつつ1人1人の顔をチェックしていると、「いました！いました！」かながわクラブジュニアユースOBで、現在社会人の関東リーグに所属する「厚木マーカス」で活躍中の松本選手(年末年始恒例の「シーガルズ交流戦」で超ロングスローを投げる選手といえばわかる方もいるのでは…)が。

最後に確認しておきますが、これは、決して「妙蓮寺駅周辺」で起きた話ではありません。

(二木 昭)

小5・6

【6年生/春季大会&全国大会神奈川県予選で】

6年生になって最初の大会ということもあり、勝ちを意識して戦ったのですが、思うような結果は出ませんでした。

しかし、試合を行う度に成長が見られ今後の期待が出来るものとなりました。大きく蹴ってよく走り、プレッシャーをかけてくるチームが多い中、かながわクラブはしっかりとつなぎ、意図を持ったプレーをし続けることが出来たと思います。

試合を見ていた他チームの指導者が、かながわクラブのサッカーを見て感心していたようです。また、「あんなにつないでいるのに、すぐ相手にメチャ蹴りされて、陣地を挽回されてしまい

かわいそうだ」とも言われていたそうです。確かにかわいそうなのかも知れません。でもそうでしょうか？私からしたら、メチャ蹴りするしかない(又はそれを半強制的にやらされている)子供の方がかわいそうに映ります。体が成長するにつれ、技術力、判断力、思考力の差は大きく影響すると思います。ですからたとえピンチになることが多くても自分で判断して、かわしたり、勝負したり、つないだりすることが重要だと思っております。こういったことを続けながら、相手に蹴らせない、体を張ってマイボールにする、負けない気持ちを持つ等といった体力、精神力を養っていけば必ずや結果がついてくるでしょう。

県大会の初戦では相手の影響もありますが、全員がコーチングを意識して早い動き出してボールと選手が動く内容のいいサッカーが展開されました。結果も6-0の快勝でした。

このように内容が良くなれば結果はついてくるものです。ですから高学年のこの期間には技術力、判断力を身につけて欲しいと思います。

【5年生/区リーグ】

5年生は区リーグが始まりました。人数が多いこともあり、一人一人の出場時間は当然短くなります。ですが、短い時間の中で、日頃練習していることをどれだけ出来るか？試そうとしていますか？短い時間だからこそ集中して試すことが必要かもしれません。試合前に自分で課題を思い返して見ましょう。「メチャ蹴りはしないで目の前の相手かわしてから次のプレーをする」とか「前に相手がたくさんいたらスピードを落としてみる」とか「プレー前に必ず顔を上げて周りを見る」とか試合前に一つでもいいので自分の課題を見つけて実践してみてください。できた時とても楽しい気持ちになるはずです。

【練習で】

練習の時、6年生は確かに技術、スピード、体力が優れていますが、サッカーをしている時は相手が6年生でも萎縮することなく、逆に向かっていくぐらいの気持ちで臨んで欲しいと思います。全力で向かっていけば6年生もきつと応えてくれるはずです。さあ！次の練習から向かって行きましょう！！(益子 伸孝)

小 4

【全員で勝ち取った決勝トーナメント！】

春のリーグ戦には、ブルーとブランという2チームでエントリーをしました。チーム力が均等になるように、多少の微調整はありましたが、在籍者を機械的に振り分けて編成したチームです。ですからブルーとかブランとかではなく、かながわクラブの4年生全員の力で勝ち取った決勝トーナメントといっても良いでしょう。残念ながら一回戦で敗退という結果に終わりましたが、実際に試合に出場して肌で感じたことやプレーをする仲間の姿を応援しながら感じたことなどを忘れないでほしいものです。決勝トーナメントだけでなく、このリーグ戦期間中に起こった様々なこと、サッカーに関することもそれ以外のことも、それらの一つ一つが大切な意味のあることなのです。子どもたちの心には、めったに味わうことのできないこうした貴重な経験を通して、有形無形の財産として深く刻まれたものがあるのではないのでしょうか。それが更なる成長へのステップとなるのです。

【テーマに関する達成度は？】

このリーグ戦に臨むにあたり以下の三点をテーマとして掲げました。それは①目の前の相手かわしてからプレーをすること、②相手の逆襲に対してどう守るのかを考えること、③ドリブルで抜けないときにはどうするのかを考えること、というものでした。簡単に言うと、個人の技術でどこまでできるのかを徹底して追究してみようということです。これまで個人の技術の向上を第一として練習を積んできましたので、リーグ戦だからといって特別な戦い方はできません。自分たちが練習してきた個々の技術がどれくらい通用するのかを試す機会なのでから。

①に関しては、ほぼ達成できたと考えます。ただ、どうしても蹴ることの得意な相手に対して、冷静さを欠き、蹴り返してしまう場面も見られましたので、その点だけは修正しなければならぬでしょう。②に関しては、少しポジションの意識が芽生えたためか、味方が攻め上がっているときでも、最終ラインに残って相手の最前線の選手をマークすることが出来る選手が一人二人見られるようになりました。それによりカウンター発で失点という場面がずいぶん減ったように感じました。しかし、まだ全員にポジションの意識が芽生えているわけではないので、ディフェンスをしていた選手が攻め上がるとバランスを崩してピンチを招く場面も見られました。ボールを奪われた人がまずはディフェンスをして、

相手のプレーを遅らせることは最低限してほしいことです。また、全員が同じレベルでポジションへの意識を持って、バランスを考えながらプレーすることができるようになることが理想です。ともすると得点をした選手ばかりに目が向きがちですが、その陰には地道にディフェンスをして相手の攻撃の芽を摘んでくれた選手たちがいたことを忘れてはなりません。本当は攻め上がりた気持ちを抑えて、チームのためにディフェンスをすることの大切さを全員が理解しないと、ポジションを決めることはまだまだ先の話ということになってしまいます。チームのために自己を犠牲にすること、そして自己のプレーに責任を持つことが前提となって初めてポジションというものが機能するのです。

ディフェンスの話から少し外れてしまいましたが、ポジションを意識することは大切なことから、是非、自己を犠牲にするプレー、自己のプレーに責任を持つということについてじっくりと考えてみてください。

③に関しては、よそのチームの猿真似をして欲しいわけではありませんし、安易にパスに頼ることを奨励しているのでもありません。積極的にドリブルで仕掛け、多くの失敗を経験しながら、自分一人だけではどうにもならない局面に遭遇したときに、どのようなプレーを選択したらよいのかを身をもって覚えて欲しいという願いから取って今回テーマとして加えたものでした。まだまだテーマの達成度としては半分以下だと考えます。ですから、これについては今後も継続してテーマとして意識し続けてほしいと思います。自らが失敗を通して身につけたものは定着しますが、頭ごなしにパターンを押し付けられたものはすぐに忘れられてしまいます。失敗を恐れず安易にボールを手放してしまうことや、なんとなく味方がけてボールを蹴るような中途半端で無責任なプレーからは何も生まれません。失敗して打ちのめされ、苦しんで、悩んで、そして身につけた技術は一生涯にわたって君たちの宝物となるはずですから。

【試合で成長する子どもたち！】

8人制のメリットは、できるだけ多くの公式戦への出場機会を子どもたちに与えることができることにあります。そして、ユニフォームの違う相手との真剣勝負という経験を通して、子どもたちの頭の中で明確にして欲しいことがありました。これはテーマにも関連することですが、練習し

てきたさまざまなプレーの中で、自分にはどんなプレーができたのか、そして、どんなプレーができなかったのかということです。上手くできて充実した気持ちを感じることができたのなら、常に充実感を得られる、更に努力を続けましょう。上手にできなくて悔しい気持ちでいっぱいなら、その悔しさをエネルギーにして、上手くできるように練習を積み重ねることです。

こうして約1ヶ月間のリーグ戦6試合を戦うなかで、子どもたちの考え方やプレー振りに徐々に変化が見られるようになりました。試合を重ねるごとに、技術的にはそれほど急激な進歩を望むことは難しいのですが、意識の面では確実に変化が起きていました。意識が変わればプレーにも好影響を与えます。チーム12人、そして試合に出場する8人の中の一員としての自覚や試合のなかでの自分の役割を認識することで責任感や連帯感が芽生えたことがその変化の最大の要因です。1、2年生のときのように自分一人が好き勝手にサッカーをするレベルから一段ステップアップを遂げた瞬間でした。試合中にチームの一員として責任感を持って、自己の最大限のパフォーマンスを発揮するようになるのです。子どもたち一人一人の成長している手応えを十分に感じる事ができた公式戦でした。

(佐藤 敏明)

小 3

【将来のために】

3年生は対外試合を経験する機会が増えてまいりました。コーチとしては試合をするからには勝ってほしいと願っていますし、子供たちにも常にその気持ちを持って試合には臨んでもらいたいと思っています。対戦チームによっては、この時期からフィールドプレーヤーの10人または7人のポジションを固定して、子供の自由な発想を許さずに徹底して勝つための試合運びをしていくチームが見受けられます。「A君はFWだから下がってきちゃダメ、B君は右サイドでC君は左サイド、そしてD君は他のDFより常に5メートルくらい下がった位置にポジションをとって、縦に入ってきたボールは遠くに蹴り返しなさい。…」実際にこのような指示を行なっているかは定かではありませんが、試合を見ているとなんとなくそのような場面が想像できてしまいます。(実際にベンチからそのような声が聞かれる場合もありますが)FWだって守備の時にももちろんのこと、味方にスペースを作ってあげる

ために下がってくることもあるでしょうし、右サイドの選手だって左前方にスペースができることを予測すれば、そこへ走ってボールを受けビッグチャンスのシーンを演出することができるかもしれません。

ポジションやシステムというのは優先順位からすると、もっとずーっと後に出てくるテーマです。しっかりした土台が出来あがってこそ、攻守を組織的に効率よく機能させるためのチーム戦術やシステム(=チームとしての約束事)が生きてくるのです。①常にいいボールの持ち方ができる、②しっかりボールを覗いてキックができる、③両足でボールタッチができる、④体をぶつけられてもボールを失わない、⑤個人の手で突破してフィニッシュできる、⑥ファウルをせずに体を上手に使って相手からボールを奪う、⑦ハイボールの目測を誤らずの確にヘディングができる、⑧攻守においてボール以外のものを意識しながらプレーできる。⑨そして何よりもサッカーが大好きであること。これらのテーマは、いい選手になるために習慣づけをしなくてはならないほんの一例にすぎません。今はチームを勝利に導くことよりも、いい選手になるためのベーシックな部分を積み上げていくことに特化してトレーニングを行いたいと考えています。

3年生のみんなへ ゲーム中にはしっかりと顔を上げて遠く(相手ゴール)を覗ながらプレーできるようにしたいね。そのためには、まずはボールを持つことに苦手意識を持っていたらダメだよ。たくさんボールにさわってください。そしてサッカーをいっぱいやってください！きっと上手になると思うよ。(鈴木 章弘)

小 2

みなさん親子サッカーお疲れさまでした。その後の筋肉痛はどうですか?!久しぶりに運動された方には少し、しんどかったかもしれませんが、なんだか真夏のような日が続くようになってきましたし、やっぱり地球温暖化の影響・・・?!親子サッカーの日も真夏のような日だったようにこれからどんどん暑い日が続くと思います。練習中もこまめに水を飲ませるようにしています。そんな中子供たちの中で「もう水がない」とか「もう無くなった」と言う声が度々聞こえてきます。これから先暑い日が続く、飲む量も多くなると思いますので少し多めに水を持たせてあげてください。よろしくお祈りします。今練習では、ドリブルや1対1を積極的に行っています。ボールを持ったら前を向いてまずドリブルしてみよう!メ

チャ蹴りはしない!などを教えています。1対1をすることによって目の前の相手に負けない、負けたくない。そんなような気持ちも持ってもらいたいです。目の前の相手には絶対に負けたくないという強い気持ちを持つ、とても大切なことだと感じます。6月に入って練習試合が入ってきます。自分自身もとても楽しみです。子供たちにとってもとても楽しみだと思います。色の違うユニフォームを着た子供たちと戦う、とてもいい経験になると思います。子供たちには一生懸命ボールを追いかけてもらい、楽しんでほしいと思います。一生懸命サッカーをしている姿を見るのがとても楽しみです。(鞍川 潤一)

幼児・小1

新年度が始まって早2ヶ月が経ちました。新しい仲間も加わったことで、今まで以上にきちんと伝えようとする声のボリュームも自然と上がってきました。のどが痛い今日この頃です(笑)。その様な中、当面は改めて「まずはボールに慣れること」をテーマに進めていきます。手も足も頭も使って、ボールはどう動くのかを知り、また、それを知ることでボールに対する恐れをなくし積極的にボールに触れるようになって考えていきます。

実はここ最近、高学年の試合を見る機会が多くなりました。各チームスタイルの違いはあるものの、ポジションも固定し組織的なサッカーをしています。しかし、個人としてのスキル、意識が大事であることを再認識しました。数年後成長した皆が試合に臨む姿を想像しながら、まずは今必要なことを一つずつ進めていこうと思います。

(小野 津春)

Papas

【toto BIG 5億6千万円!】

マスコミで久々に toto が話題となりました。史上最高の1等当せん金6億円のスポーツ振興くじBIG(ビッグ=勝敗予想はコンピューターが無作為選択する新種の toto 昨年9月から発売)で、連続11回も1等がでなかったために、繰越金(キャリアオーバー)が過去最高のなんと15億円で膨らみました。もし的中が出れば6億円の当せん金が数口出ることから、BIGの購入者が激増し、システム障害が発生して一時販売を休止する騒ぎにまでなりました。

結果は、総売り上げは史上最高の約65億円に達し、うちBIGの売り上げは約61億円となりました。BIGは売り上げの50%が払い戻されて、

払戻金の80%を1等に配当する仕組みで、今回の1等配当金約24億円で繰越金約15億円を加算した約39億円が1等分になりました。5月19、20日のJリーグ計14試合の結果をすべての中した1等は7口出て、当選金は5億6,313万2,913円となりました。もちろん、所得税などの対象外です。宝くじや競馬などの公営競技を含めた国内史上最高当選金は昨年11月のBIGの5億8千万円でしたから、日本記録とはなりませんでした。

そもそもこのサッカーくじ toto は、スポーツ振興に必要な財源を確保するために、「スポーツ振興投票の実施等に関する法律」が平成10年5月に公布され、平成13年3月から全国販売開始、平成14年度からスポーツ振興事業への助成が始まったものです。このくじの売り上げの半分は当せん払戻金に、残りの3分の2がスポーツ振興に配分される仕組みです。発売当初の toto は、売れ行きが好調で13年度は642億円を売り上げて翌14年度の助成金総額は75億円となり、これからのスポーツ振興のための資金は toto だと思っただけ驚きましたし、期待しました。しかし、その後売り上げは年々減少して、とうとう17年度の売り上げは149億円、18年度助成金は1億円になってしまいました。次の回のBIGの売り上げも5億7,385万円と前回の61億円から激減してしまいました。

賭け事のことを時折トカルチョといいますが、これはイタリア語で、「ト」は掛け金の合計のことだそうです。トカルチョはサッカーのことです。地元クラブの勝敗を賭けて楽しむこともサッカーという文化の一つです。皆さんもスポーツ振興のために、もしかするとまたかながわクラブに助成金がもらえることを夢見つつ、totoをお求めになってはいかがでしょうか。(茅野 英一)

Mistral

確か50代前半ぐらいまでは、練習中に怪我をしないようにしようなどと考えなかったものですが、60も過ぎるとずいぶん変わりました。何しろ昨年の夏に痛めた膝が、ようやく半年かかって何とか使えるかなというところまで回復するのですから。つまり一度いためると、若いときと違って治るのに時間がかかるし、元通りにはならないということを体が理解したということです。もう潮時なのかなと思ったりもしましたが、思い切って練習にいくとやっぱり楽しくて、爽快で、帰りがルンルン気分なのです。でも実はサッカーを練習に来ているチームメイトやコーチに、

年齢を笠に着て甘えていたのだなと気がつく機会がありました。程ほどに楽しもうと思っている私のプレーはどうしてものりくらりしてしまいますから、真剣に取り組んでいる皆には我慢ならないプレーになるわけですよね。球回しが終わってベンチに座ったとき、仲良しの三留さんが耳元で「玲ちゃんあんな態度じゃ上手にならないよ」とささやいたのです。私は口もあんぐり、目から鱗ではなく、口から鱗でした。60も過ぎたばあさんに他のことならともかく、サッカーで「上手にならないよ」なんていってくれる人が居るなんて、すごいと思いませんか!「ありえないっの!」と花より男子の土筆ちゃんなら言うでしょうね。そういうわけで次の練習の時には自分なりの全力で取り組みました。球回してあまりにまわされてしまっているときは、コーチが無理な股抜きで上手に交代してくれますね。まだまだ上手になれるかもと希望がわいてきたのですが、その日の夜のこと飼犬をからかって何気なく立ち上がった時、ギクッ!えっ!あえなくぎっくり腰となったのです。ほんとに兼ね合いが難しい。全体の健友堂のお陰で一週間強で何とか回復。明日の金曜はどのようにかなと思っていたら、「内田さん明日サッカーでしたね。腰にテーブを貼っときましょう」と先生に親切に言われ、休む理由もなくなりました。でも雨でしたけれど。皆さんもう少しの間よろしくお付き合いをお願いしますね。(内田 玲子)

ヨーガ

毎回、10回連続コースとなっているヨーガクラスですが、今回は6月の初めに一週お休みをいただいています。(水曜日クラスは6月6日。金曜日クラスは6月8日がお休みです。お間違えのないようお願いいたします。)昨年に引き続き、私がインドにヨーガ修行に行くためです。(はい。凝りもせずに又行ってきます。)前回は南インドのケララ州に行ってきましたが、今回はデリーを中心に北インドへ行きます。デリーからバスで7時間(!)程のところにあるリシケシでアシュラム(ヨーガの道場)にこもることになっています。なんでも、かの有名なガンジス川のほとりに建つアシュラムだとか。「川のほとり」というと一瞬良い感じがしますが、話がガンジス川となると・・・どうなのでしょう?今から「いろんなものが流れてくるのが見えるよ。」と脅かされています。怖いような、見てみたいような。そういう意味も含めて楽しみです。お休みをいただき皆様にはご迷惑をおかけい

たしますが、新たに何かをつかんで帰って来たいと思っています。おみやげ話を楽しみにしててください。(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の臆言

誠に不名誉なことなのですが、「内田が応援に来ると負ける」神話なるものがあるようです。たしかに私が応援に行くとたいいの試合は負けています。

なので、このところ自粛していたのですが、5月のいい気候に誘われて、まずは4年生の試合の応援に行くことにしました。ただし、私一人で行って負けるとまたもや神話が続いてしまいますので、特別にヨーガの伊藤先生を誘いました。結果見事3-2の逆転勝ち。よしよし。これで勝てない神話は崩れたらと思う、調子に乗って小4のもう一つのチームの決勝トーナメントに顔を出しました。しかも一人で。これがいけませんでした。神話復活です。かくなる上は、再度伊藤先生を誘い、Top が今まで一度も勝ったことのない東海FC WINGSとの県リーグの試合を応援に行くことに。

勝ちました。2-0で。な～んだ、やっぱりそんな神話はなかつたんだ。ただの迷信です。

え？私のマイナスの力より伊藤先生のプラスの力が大きいだけだって？ふ～む…。確かに一理あるかも…。

次から行く時は少し工夫をしてみます。誰にも悟られずに観ているとか、(内田 佳彦)

夏休みの活動予定

クラス	曜日	時間帯	場所	遠征・大会・合宿	その他
幼児・小1	日	9:30-11:00	港北小	なし	■小学生海洋キャンプ (NPO 湘南ベルマーレと共催) 7/24(火)~7/29(日)／5泊6日 YMCA 阿南国際海洋センター (徳島県阿南市) 小3以上 ■ファミリーカヌー教室(日帰り) 8/4(土) 清川村宮ヶ瀬湖カヌー場
小2	日	11:00-12:30	港北小		
小3	日	12:30-14:00	港北小		
	水・金	16:40-18:00	大口台小		
小4	日	14:00-15:30	港北小		
	水・金	16:40-18:00	大口台小		
小5	日	15:30-17:00	港北小		
	火・木	16:00-17:20	港北小		
小6	日	15:30-17:00	港北小		
	火・木	16:00-17:20	港北小		
Junior Youth	火・木・土	<火・木> 9:00-15:00の間 <土> 9:00-17:00の間	港北小 三ッ池 他	■遠征あり(日程は未定) ■高円宮杯県予選 8/25(土)~	■水・金曜日に活動の場合あり
Youth	火・木・土	17:00以降	港北高 新羽中 他	■遠征なし ■県U-17リーグ 8/2(木)~	■8月は16:00以降
Papas	日	8:00-9:30	港北小	なし	
Mistral	金	10:00-12:00	片倉北公園	なし	

【注意】

- ①これは、現時点での予定ですので、時間帯や場所は変更になる場合があります。あくまでもひとつの目安とお考え下さい。特に、日曜日の港北小での活動時間帯は、夏休み時期には幼児・小1クラスの人数が増えていることを見越して、時間帯を設定していますことをご了承ください。
- ②8月のお盆時期【8/11(土)~8/17(金)】は、活動及び事務局はお休みとなります。
- ③上記以外の曜日に試合が入ることもあります。